



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

城陽江尻病院だより 2025年1月号

- 新年のご挨拶
- 新しく赴任した整形外科常勤医のご紹介
ほか

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナによるパンデミックが終息し、海外からの旅行者で賑わっていますが、出生率の低下と就労人口の減少によるマンパワー不足が介護・医療業界にも影響を及ぼしています。IT革命やAIを駆使した医療・介護が唱えられて久しいですが、現状はまだ進展していません。人手不足はこれからが本番ですが、診療報酬の据え置きや実質的減額が続き、光熱費や人件費などの経費が増加し、診療所・病院経営の圧迫要因となっています。政府主導の給与水準上昇政策にもかかわらず、診療報酬は上がる気配がなく、さらに薬価点数の毎年度改訂による薬剤点数の低下で製薬会社も疲弊しています。そのため、薬剤不足が日常茶飯事となり、コロナやインフルエンザの流行にもかかわらず、咳止めや抗菌剤、解熱薬などの使用制限があり、その他の慢性疾患で使用するジェネリック薬にも影響が及び、日常診療に重大な影響が出ています。コロナ禍のパンデミックはもちろん、過去の医療政策の検証もなされないまま、新たな医療費削減・合理化・省力化政策が次々に行われようとしています。国民の生命・財産を守るはずの政府が機能不全に陥っているようです。わが国は以前から様々な重大事故や歴史的な重大事象の検証に関心を示さない傾向があります。秋の衆議院選挙の結果、与党が議席を大幅に減らし、今や野党の協力なしには国会運営が不可能な状況となりましたが、なぜか国会審議が活発化したように感じます。

11月に博多で日本医療情報学会が開催され、出席してきました。出席してわかったのですが、13桁のバーコードを使用してあらゆる薬剤や薬剤説明書、医療機器・消耗品のコーディング、さらにはバイタルや医療行為、疾患名や病態・病状、介護情報などのコーディングを行うというシンポジウムがありました。2024年には閣議決定し、予算化されたとのこと。今や文章でも検索可能な時代に、一昔前の技術を使用したバーコードの使用には少なからず疑問を感じました。我々が知らないうちに様々なことが予算化されていることに驚きました。マイナ保険証の普及ですら混乱が生じているにもかかわらず、国民の健康情報の管理まで国主導で行われます。次回の日本医療情報学会は姫路市で開催されますので、ご興味がございましたらいかがでしょうか。

日本も金利のある世界になり、様々な経済活動の経費増が予想されます。診療報酬が引き上げられる可能性は低いですが、知恵を絞って患者さん中心の医療に努めたいと思います。最近、SDGsからWell-beingという言葉が流行しています。Well-beingは1946年に設立されたWHO憲章の中で「健康」を定義するために用いられた言葉です。今年は心と体で社会的なつながりを持つWell-beingをテーマに当病院を運営していこうと思います。

インフルエンザが流行しています。くれぐれもお体を大切になさって、地域の患者さんのために日常診療にご尽力いただけることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



特定医療法人光寿会 理事長
江尻一成

あけましておめでとうございます。2025年が始まりました。今年は21世紀が1/4を迎える年であり、昭和から数えて100年の節目でもあります。人生100年時代といわれる今日、人が生を受けて社会とのつながりを感じるのも、まさに100年の流れなのかもしれません。

数年前、テレビで「まだ世の中に徳川慶喜を実際に見たことがある人はいるか」という番組を見ました。徳川慶喜は長寿で、大正2年に亡くなりました。その番組では、東京在住の100歳を超えた女性が「子供のころ、日本橋あたりをお付きの人と歩いているのを見た」と証言していました。実際に「日本橋」と揮毫したのは徳川慶喜といわれており、このようなニュースを聞くと、江戸時代の徳川慶喜が身近に感じられるから不思議です。

原子爆弾投下から今年で80年が経過し、記憶を持った被害者の方々も80～90歳を超えるようになり、原子爆弾の恐ろしさが人々の記憶から薄れていかないか不安です。昨年、原爆被害者の団体がノーベル平和賞を受賞したという明るい話題がありましたが、引き続き原爆のことを後世に伝えていき、世界から核兵器がなくなることを願うばかりです。

さて、医療界においては、昨年2024年が『地域医療構想』の最終年でしたが、現状はいかがでしょうか。「病院完結型」から「地域医療完結型」への移行はある程度進んでいるものの、まだ道半ばと感じられます。各施設が紹介先や紹介率などの検証を進める必要があります。2025年は、以前から指摘されていた団塊の世代が後期高齢者となる年であり、医療費のさらなる増加が予想されます。このため、薬価や診療報酬の見直し、健康日本21の号令のもと、病気にならない対策など、政府は医療費の抑制に取り組んでいます。しかし、薬価引き下げによる薬剤不足や、診療報酬見直しによる医療機関の経営圧迫など、問題が次々と現れています。

このような中で、当院はこれまでの透析機能に加えて、入院施設を有効に活用し、基幹病院との連携をさらに進め、小回りの効く病院として今年も頑張っていく所存です。内科、循環器内科、外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、放射線科など、広範囲にわたる対応をしております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



城陽江尻病院 院長
小川隆義

新しく赴任した整形外科常勤医のご紹介

2024年10月1日より赴任いたしました整形外科常勤医の柴田洋作と申します。以前は加古川中央市民病院で勤務しておりました。

整形外科では、骨や関節、筋肉、靭帯、神経など、運動器に関する幅広い診療を行っております。日常生活の中で発生するさまざまな症状や障害に対し、専門的な診断と治療を提供しています。近年は高齢者の膝や腰の痛みに関する相談が増えており、当科では、痛みの軽減や日常生活の質の向上を目指して治療に勤しんでおります。骨折に対しては、保存的治療や腰椎麻酔下での手術などを行っております。リハビリテーションにも力を入れておりまして、理学療法士や作業療法士とともに患者様に最適なリハビリテーションプランを作成したり、回復のサポートを行ったりしています。

患者様一人ひとりの症状やライフスタイルに合わせた診療を提供し、少しでも日常生活の質が向上するよう努めておりますので、患者様の運動器に関するお悩みがありましたら、当科にご相談くだされば幸いです。

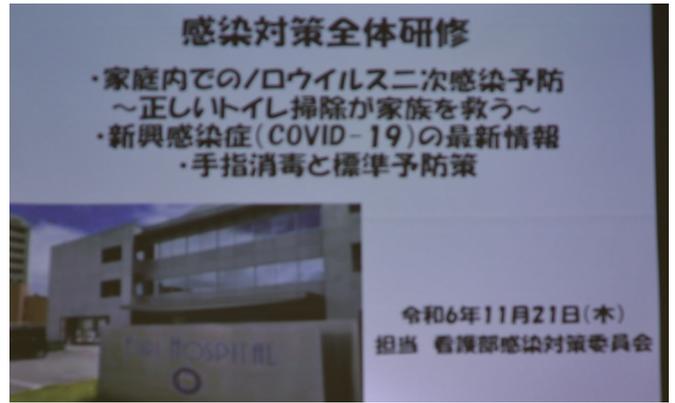


柴田洋作医師（中央）とリハビリテーション課スタッフの一部

心肺蘇生研修、感染対策研修



2024年10月23日、心配蘇生研修を行いました。年に1回、救命処置法を幅広く普及させることを目的として実施しています。医療従事者として一市民として焦らず行動できるよう、座学だけでなく実技演習も行っています。



2024年11月21日、感染対策研修を行いました。「ノロウイルスの二次感染予防」として、正しいトイレ掃除について学びました。トイレは病院だけでなく自宅でも感染拡大の原因となりやすいため、生活にも役立つテーマであり、とても勉強になりました。

永年勤続表彰、外来糖尿病教室



毎年恒例の永年勤続表彰式を、2024年12月10日に行いました。長年のご貢献に感謝し、表彰状と記念品が渡されました。



奇数月の第3土曜日に外来糖尿病教室を開いています。食事やお薬、運動、その他知っておきたい豆知識についての講習で、40分間ほどです。気軽に参加できますので、興味のある方は遠慮なくお問い合わせ下さい。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

- ➔ **079-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。
- ➔ 担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・マンモグラフィーのご依頼

- ➔ **079-225-1231**（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

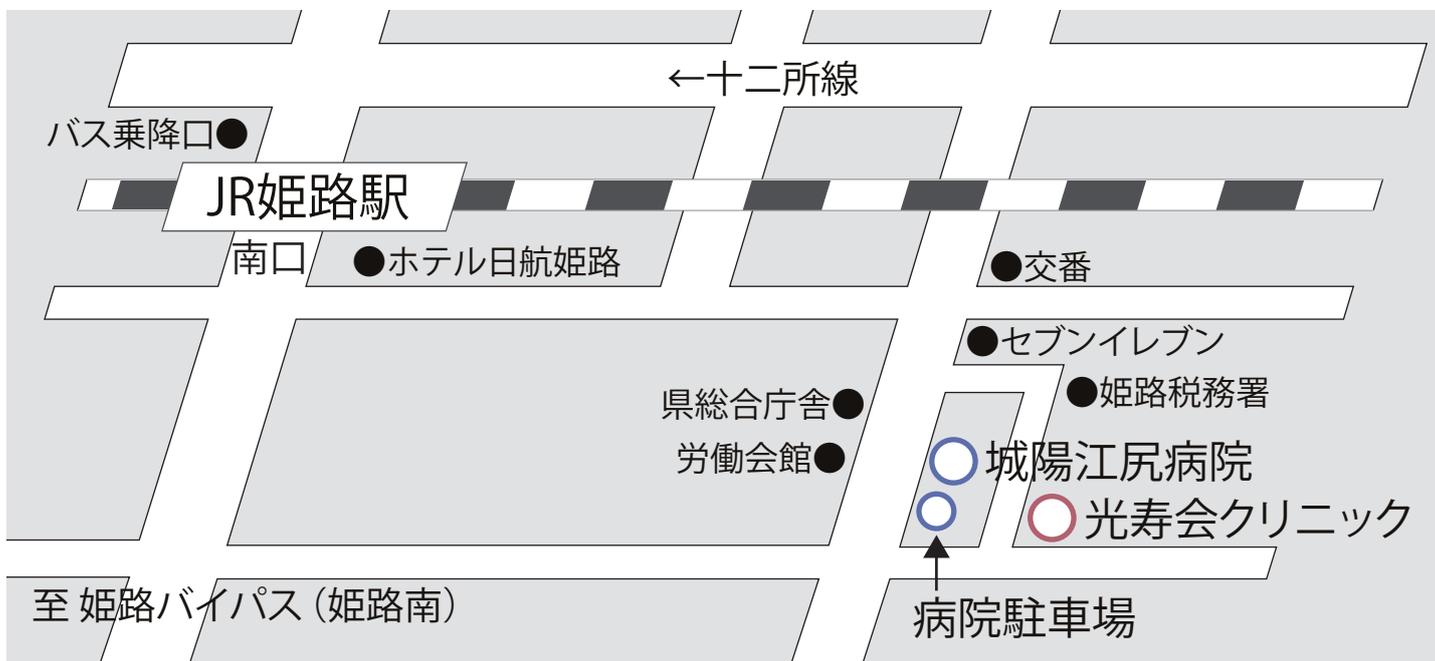
※ そのほかのお問い合わせは **079-225-1231**（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279
 ホームページ：www.ejirihospital.or.jp
 代表 Tel：079-225-1231
 Fax：079-222-0154



EJIRI HOSPITAL
 城陽江尻病院